

# 月影

平成十七年二月十七日発行（第八号）  
浄土宗西山禅林寺派

紫雲山 常 林 院

## 年改まり人も新しく

我が宗派の総本山永観堂禅林寺管長五十嵐隆明猊下の任期満了に伴い、次期管長に、香泉寺住職、小木曾善龍師が推薦され就任されました。

（小木曾師は常林院のお彼岸のお説教など昔から御世話になっている方です）

今月二月一日から総本山禅林寺第八十九世法主として、任期の五年間就任されます。

本山永観堂において、二月五日に五十嵐隆明猊下の退山式、そして、二月十日に小木曾善龍猊下の入山式が挙行されました。

また、五月九日に晋山式が行われます。

## 春の彼岸会

春の彼岸会を下記の通り厳修致します。

お彼岸は先祖供養の法要です。供養とは、遺族や親戚・知人などが、墓に参って塔婆を立てたり、線香や花を供えたりすることですが、故人を追慕し、供養することは善い行いです。仏教では、遺族などが行う諸々の善い行いを、故人がしたものと見て、故人に回し向けることができます。故人のために追って善をなし、それを故人に回し向けるところから追善回向と言います。

どうぞ、お彼岸にはご家族揃ってお参りいただきますよう、よろしくお願ひ致します。

# 春の彼岸会

記

日時 平成十七年三月二十一日（月）

午後一時より彼岸会法要

午後二時より御説教

場所 常林院本堂にて

今回のお説教は、以前にも何度かお越し頂きましたが、高槻の浄園寺御住職、三輪真明師にお願ひしております。たくさんの方にお聞き頂きたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。尚、彼岸会法要で御先祖供養の回向を致します。御希望の方はお申し出下さい。

## 朝の勤行のすすめ

「毎朝、お仏壇にお線香をあげて手を合わせているのですが、それだけでは何か物足りないような気がするのですが、お経をあげたいのですが…。やさしく読めるお経はありませんか？」と、おっしゃる方がおられます。

月参りで読んでいる「浄土宗西山勤行式」（赤い経本）が望ましいのですが、すぐには唱え方が分からず朝の短い時間には向かないようです。そこで、やさしく短い「般若心経」をおすすめています。

般若心経は紀元前後にインドでつくられたお経です。原典のサンスクリット語から中国語に翻訳したのは西遊記で知られている三蔵法師です。西遊記の三蔵法師は孫悟空たちと唐からインドに仏典を取りに行きますが、現実の三蔵法師も独力でインドへ行き多数の経典を持ち帰って来ましたが、唱え方は棒読みです。手を合わせてゆっくり唱えます。般若心経を唱えた後、続けて「願以上来所修功德」と戒名を読んで回向をします。これも棒読みでゆっくりと唱えます。

朝に限らず、空いている時間に一日一度御仏壇の前で唱えていただけたいと思います。